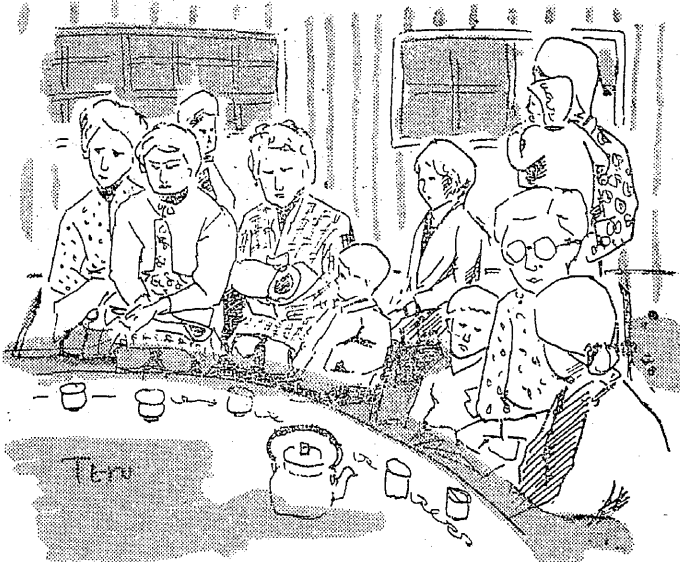


交流を深め

班活動の活発化を

主婦会交流座談会を終って



あまたの星のおひなひなひな

働きに出ている

主婦の立場から

三川・小嶋 川口雪枝

私は毎日家をあげ、内取に行っておりますが、組織のない職場で働く私たちが痛むほど感じているのは、忙しいときには残業・日曜出勤で、半ば強制的に働かされ、仕事が終わると一方的に解雇され、経営者のいいなりになって何の要求もせず、だまされていなければならないという苦しい現実です。組織の力強さを感じることができません。この間の主婦会の交流座談会

主婦座談会に思う

西山 下河延雄

高浦支部朝日ヶ丘、A班を紹介

話し合いの中から

宮浦・月見丘 川口昭子

去る九月下旬、私たち主婦会役員は組合執行部とともに、分指して各分指に交流座談会に入って行きました。

会社のいかなる差別や攻撃にも打ち勝って強い信念を持って、三本線を守り通している夫々で活動している主婦会員として、また低賃金のため毎日内取に、そして苦しい家計のやりくりをして、家庭を守っておられる会員の身近かな声をこの耳で聞きたいと、慣れぬ司会役をつとめたが、一言も聞きおぼろげなまじりを取りました。

参加された会員の顔も、私のお目には三池主婦会員として誇り輝いておられる姿が印象的でした。

出席し、全員集合するの大変おそくなり、せわしなく集ってからもみんなで話し合う雰囲気の中に入らない人もあり残念でした。せわしなく話し合っているうちに、話しかけ、お互いに理解し合えねばならないと、貴重な機会を、有意義にするようみんなで協力し合うよう、率直に反省したいと思えます。

火花

第三回三池

にまなぶ会が開かれてからすでに八月が過ぎました。私たちが三池にまなぶ会に参加し、職場の中で私たちが何をすべきかというところで、現在まで三池の現状と私たちの日常の問題

道各地に反映させようとして帰ってきました。

かかってない給食本の攻撃は、思想面ではじめの精神的肉体的な手段をかえたりは、またたく人間性を無視した悪行を暴露しています。このような重要な時期に、私たちは、真の労働者として生きるために正しいものの方、考え方をしつづける問題の根を深く掘り下げ本質をみきわめることが大切だと思います。

すると、在籍三〇名のうち出席二七名、他は入院または自宅療養と欠席の理由を明らかにし、定時は全員が出席し直に開始できるような積極的な取り組みがなされ、討議の中で、私語が全然なく、家族会議、子供の問題、内取の実態と悩み等のテーマに基づいて、多くの方が発言して討議に集中する姿を見て感心したものである。

組合員は、会社の出戻第一保安無視の職場実態のなかで、毎日毎日危険にさらされている。出勤時には、必ず愛情のこもる声で、今日もケガしないでね、といったわがやがた、激励することが、さうに私たちの闘いを発展させ、家族会議の雰囲気をつくることを確認しました。話し聞く時間、がきも集りが悪い地域や、集会所さえ開いていない分指を支援したい。

今後、このような交流座談会を開き、みんなが裸になって喜びも悲しみも意見を出しあえるような集まりがたれ、その実態を深く理解した上での指導が行なわれるようにする。同時に、家族会議の内容を、主婦の悩み、組合員の悩み、組合の動きなどについて話し合える場所にしたものであ

現在の私たちがとるべき情勢をみると、大企業中小企業を問わずあらゆる労働者に合理化攻撃は国家権力を背景としてスクラップ・アンド・ビルドを基礎においた体制の合理化である。それは日本独占資本の発展と維持を反映した

三池にまなぶ会に参加して

私たちが運動は、平和の問題、職場の問題、バラバラの闘いでなく、日常の職場活動から家庭にまでつながった運動をやらなければならぬ。そういう問題をもって三池にまなぶ会に参加し、職場の中で私たちが何をすべきかというところで、現在まで三池の現状と私たちの日常の問題

その後の報告

札幌交通 日置光夫

攻撃であるのを見がしはなならない。もし私たちがこの合理化をそのまま受け入れたら、見のがしてはいた私たちが生活はどうなるのであろうか。

職場では活動家の弾圧と組合力がかえりながら私たちが権利は剥奪され、失業者を生みだし、労働者人でも多くの仲間を作るため



九月二三日、宮浦鉦長への抗議を整理と行なう各支部組合員代表

許すな

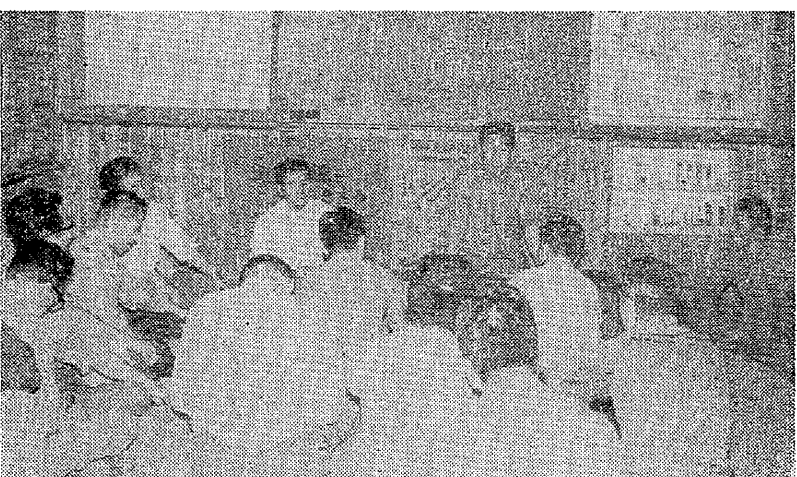
三井資本の弾圧

三井鉦山の二万トン体制の強行は、労働者に吸血鬼のようにおそいばかり、保安無視・労働強制など戦前のタコ部屋体制に似たようなものがある。八月二三日宮浦支部宮本分会長他五〇名にわたる大量処分は、明らかに活動家の抹殺による組織ハカいの不当、不法な弾圧以外にない。

資本の利潤追求のまねには、危い仕事である、ムチャな仕事である、問答無用で酷使できる労働者つくりを意図した処分である。われわれはこの弾圧を黙視することはできない。

仲間たちはたち上った。毎日繰返された抗議活動は、職場から職場へ拡がり、無災害運動をより強化していきつづけた。

九月三日、保安監視を含む不当処分を抗議して、全支部の統一四二四ストを行ない、宮浦鉦長への抗議行動を行なった。



職場活動を封殺するねらいで行なわれた不当処分を受けた宮本分会長をかこんで、本所支部では9月20-22日に各分指毎の激励・抗議集会をもつた。